

会員の皆様

大阪府臨床心理士会会長 梨谷 竜也

第32回 大阪府臨床心理士会 総会・研修会のご案内

第32回大阪府臨床心理士会総会・研修会を下記の通り開催いたします。

ご多忙の時期とは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

午前は「支援者支援としてのセルフ・コンパッション」と題して、全体会を企画しました。また、午後は6つの分科会を開催します。

参加申込をされる場合は、【5. 申込手続き】に沿ってお申込ください。先着順にて受付いたします。

当会では、新型コロナウイルス感染予防として、マスクの着用を推奨しております。当会におきましても新型コロナウイルス感染拡大防止に努めておりますが、感染についての責任は負いかねますのでご了承ください。

※今回の研修会は、イベントペイというツールを用いたオンラインでの申込になります。

※事前申込制です。当日の参加受付はいたしません。

※申込状況によりご希望の分科会に参加できないことがございますので予めご容赦ください。

※大阪国際会議場では、持ち込みの飲食は禁止されています。ただし、会場で注文したお弁当であれば、会場でお取りいただけます。お弁当の注文については、【5. 申込手続き】を参照ください。

1. 日時：2024年6月16日（日） 9：30～17：00 [受付は9：00より開始します]
2. 場所：大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪 [会場案内図参照]
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
※会場の空調は集中管理のため、各自、調整できるように服装等ご準備ください。

3. スケジュール

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 9：00～9：30 | 受付開始（場所：10階） |
| 9：30～11：30 | 全体会 |
| 11：30～11：35 | 事務局からのお知らせ |
| 11：35～12：35 | 昼食・休憩（書籍販売があります） |
| 12：35～13：35 | 総会 |
| 13：35～13：50 | 休憩・分科会会場へ移動（会場は当日ご確認ください） |
| 13：50～16：50 | 分科会 |

4. 研修内容

◇◆◇ 全体会 ◇◆◇

「支援者支援としてのセルフ・コンパッション」

近年、心理学的介入の構成要素としてセルフ・コンパッションの関心が高まっています。セルフ・コンパッションとは、苦しみに直面したときに自分に思いやりをもって労り、その経験は誰しもが経験しうると普遍的に捉え、否定的な感情に捉われることなくそれを受け入れるという心理学的態度であり、精神的健康との関連が示されています。

支援者はその業務特性からストレスフルになりやすく、自分を思いやり心の健康を守るセルフケアが重要です。今回は関西学院大学の有光興記先生をお招きし、支援者を支えるためのセルフ・コンパッションについて学びたいと思います。

企 画：理事会
講 師：有光 興記（関西学院大学）
司 会：平野 徹（馬場記念病院）

◇◆◇ 分科会 ◇◆◇

《A分科会》 多様化する「アディクション」とその支援

近年、アルコールなどの物質依存だけでなく、ギャンブルやゲームなど行為・行動へと依存対象が多様化しています。心理的援助として、認知行動療法によるさまざまなプログラムが開発されつつありますが、それだけでは十分な成果が出ているとはいえない現状があります。本研修では、依存症専門クリニックを軸に、地域でも幅広く、依存症当事者や家族の支援、ネット依存のオフラインキャンプなどに携わっておられる中元康雄先生を講師にお招きし、アディクションについてご講義いただきます。薬物療法がほとんど役に立たないアディクション臨床において、心理職に何ができるか、明日からの臨床に活かせるアイデアについて、ワークなどを交えながら、皆さまと一緒に考える機会にしたいと思います。

企 画：医療保健部会
講 師：中元 康雄（幸地クリニック）
司 会：岡村 香織（大阪経済大学）

《B分科会》 マインドフルネス実践講座～働く人へのメンタルトレーニング

ストレス社会とも言われる現代、働くことへの不安やストレスを感じる人が増えていると言われています。休職者や退職者の増加だけでなく、心身に不調をきたし能率が低下した状態のまま働く「プレゼンティズム」への介入が大きな課題になっています。マインドフルネスはこうした働く人のストレス低減や集中力アップなどに効果が確認されており、プレゼンティズムの改善が期待されています。今回の研修では、精神医療の現場でマインドフルネスを中心としたメンタルトレーニングを提供されている清瀬千彰先生にご講義をいただき、働く人のセルフケアにマインドフルネスがどのように役立つのか、臨床心理士によるマインドフルネス提供の実際を、体験ワーク等を通じて学びたいと思います。私たち自身も「働く人」です。この機会にぜひご参加ください。

企 画：医療保健部会
講 師：清瀬 千彰（有馬病院）
司 会：中 亮介（住友病院）

《C分科会》 アタッチメントの基本と臨床的応用 ～学校現場で出会う子どもたちを支援するために

学校現場で子どもたちと出会う中で、学習や友人関係、不登校、非行、虐待など様々な問題が、アタッチメント形成の不安定さと関連しているように思える時があります。アタッチメントの安定を意識しながら子どもとどのように関わればよいか、どのような視点を教職員と共有し、支援すればよいかなど悩むこともあると思います。

そこで本研修では、アタッチメント研究や臨床的支援に造詣の深い、名古屋大学の工藤晋平先生をお招きします。アタッチメントの基本から、アタッチメントを意識したアセスメントや関わり方、教職員との連携等についてご講義いただきます。なお、本研修では架空事例を用いたグループワークを行い、各グループの協議内容や意見等について、任意で個人デバイスによる web 回答をお願いする予定です。各グループの意見を全体共有することで、さらに学びを深める機会にしたいと思います。

企 画：教育部会
講 師：工藤 晋平（名古屋大学学生支援本部アビリティ支援センター）
司 会：樋口 隆弘（関西医科大学総合医療センター）

《D分科会》 産業領域は難しそう?! これだけは知っておきたい労働者・組織支援に必要な能力とスキル

人によっては産業領域の心理的支援は難しく思われるかもしれませんが、そうではありません。労働者を支援する事があるという点では病院や学校も産業領域ですし、心理職として働く事は労働者として産業場面に関わるという事です。従って、産業領域に必要な知識やスキルを学ぶことは殆どの心理職に役立ちます。

産業領域では、対個別だけでなく、研修やコンサルテーションなどの対組織支援、エビデンスに基づいた実践が重視されます。こうしたニーズに応じるために必要な能力やスキル、その高め方は何でしょうか。既に産業領域の心理専門職に求められるコンピテンシー（小林ら、2020）が抽出されています。本研修では、そのコンピテンシーにまつわる研究と実践の概要について知り、労働者の支援において身につけるポイントを学ぶ時間にします。

※小林ら（2020）産業領域で心理専門職に求められるコーピングの抽出と難易度の推定：デルファイ法による検討 産業ストレス研究, 27(2), 251-262.

企 画：産業部会
講 師：高原 龍二（大阪経済大学）
話題提供：篠倉 拓也（有限会社野花ヘルスプロモート）

《E分科会》 ひきこもりという生き方をどう支援していくか～若者支援の現場から～

さまざまな生きづらさを感じ、ひきこもり状態にならざるをえなかった若者たちがいます。傷つきやストレスをかかえ、立ち止まることでそのつらさを伝えてくれているようにも感じます。

本研修では、ひきこもりやニート、不登校の若者とそのご家族を支援してこられた、NPO 法人青少年自立支援施設淡路プラッツの浅井紀久子先生と一緒に、ひきこもりの状態にあった人がもう一度、人や社会とつながり、その人なりの自立へと進んでいくスモールステップの一步一步を見ていきます。

家族相談から若者本人との出会いへ、相談員との関係性から居場所（社会）へ、そしてひとりひとりの自分らしい自立へ、その中で生じる葛藤や気持ちに折り合いをつけていくプロセスに思いめぐらせ、皆さんと共有したいと思います。

企 画：福祉部会
講 師：浅井 紀久子（NPO 法人 青少年自立支援施設 淡路プラッツ）
司 会：足立 倫子（枚方市 子ども未来部 子どもの育ち見守り室 子ども相談課）

《F分科会》 新人研修会 ―現場で求められる心理士となるために―

新人の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。現場に出てみると、「思ってたのと違う!」「こんなはずじゃなかった」など、色々を思いを感じることはないでしょうか。実際、現場では養成課程では十分に学べなかった様々なスキルや知識が求められます。本研修会では、そうしたスキマを埋めるための「臨床の知」を皆さんと共有する機会としたいと思います。先輩たちの臨床実践から臨床心理士としての実務において役立つヒントやノウハウを紹介します。あなたの働き方を少しアップデートしてみませんか。なお、本研修会は資格取得後5年以内の方を対象としています。

企 画：理事会
講 師：梨谷 竜也（馬場記念病院）
講 師：二見 真美（司法心理研究所）
司 会：川端 康雄（大阪医科薬科大学病院）

5. 申込手続き

※お申込は、イベントペイで行っていただきます。パソコン、スマートフォン等をご用意ください。

【重要】なお、本案内は「大阪府臨床心理士会会員専用申込フォーム」となっております。当会非会員の方には別の申込フォームを大阪府臨床心理士会ホームページにてご案内いたします。

① 申込締切：5月5日(日)振込み分まで ※締切厳守
研修当日の受付はいたしませんの、ご注意ください。

② 参加費：大阪府臨床心理士会会員（お弁当なし） 3,000円
大阪府臨床心理士会会員（お弁当1,500円（パックのお茶つき）あり） 4,500円
非会員臨床心理士（お弁当なし） 5,000円
非会員臨床心理士（お弁当1,500円（パックのお茶つき）あり） 6,500円

※大阪国際会議場では、持ち込みの飲食は禁止されています。ただし、会場で注文したお弁当であれば、会場でお取りいただくことは可能です。所定の場所にておとりください。

※入会希望の方は、5月5日（日）までに入会をお済ませください。

※入会申込から入会登録の完了まで、早くても2週間程度は要します。

※年会費を2年以上滞納された場合、除籍となります。ご注意ください。

③ 参加ご希望の方は、以下のURLあるいは二次元コードにアクセスし、申込フォームにご入力ください。当会ホームページのトップページでも確認いただけます。

※この申込フォームは当会会員専用です。非会員の方は大阪府臨床心理士会HPに非会員用申込フォームがあります。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=1573059353461105&EventCode=8459937614



- ・手数料は 220 円です。
- ・希望する分科会 1 つを選択してください。誤って選択された場合、申込後の変更修正ができませんのでお気をつけください。
- ・申込フォームに入力されたお名前や臨床心理士番号、メールアドレスなどが、当会の会員確認となります。
- ・ご入力されるメールアドレスが、eventpay.jp からのメールを受信するよう設定を確認してください。キャリアメール (@docomo, @ezweb, @softbank など携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス) でのお申込の場合、eventpay.jp から受信できないことが多いようです。また、eventpay.jp から受信したメールが、誤って迷惑メールフォルダに分類される場合もありますのでご注意ください。
- ・申込エラーが表示された場合、1 つのメールアドレスで 2 回目の申込をしているなどの理由があります。必要に応じて前のページに戻り、申込情報の確認をお願いします。
- ・クレジット決済を選択された方は、入金を確認されると【お申込みいただきありがとうございます】の件名の申込および事前支払い受付メールが届きますので、こちらで参加申し込みは完了です。なお入力等に不備がある場合、決済が行われず申込が完了しません。確認メールが届いていることを必ずご確認ください。
- ・コンビニ決済又はペイジー決済を選択された方は申込受付メールが届いた後も、引き続き支払手続きをお願い致します。入金を確認されると、「入金を確認いたしました」と入金確認メールが送信されます。入金を確認された時点で、参加申込は完了です。期限内に入金がないと、申込は自動的にキャンセルされます。
- ・一度納入された費用は、いかなる理由があっても返金できません。ご了承ください。また参加キャンセルの連絡は不要です。参加証ハガキが届いた後の場合は、そのまま破棄をお願いします。

④ 参加申込の完了後の返金および分科会の変更はできません。

⑤ 参加申し込み締め切り 5 月 5 日（日）までに手続きを完了された参加者には、6 月上旬頃に「参加証」を当会に登録されている案内送付先の住所にはがきでお送りします。当日忘れずにご持参ください。はがき発送時期が変更になる場合は HP 等でお知らせいたしますのでご確認ください。

※尚、手続きに不備があった場合は「参加引換証」をお送りします。「参加引換証」が届いた方は、当日 9：30～10：00 までに事務局受付で参加証と引き換えてください。

⑥ 本研修は、資格更新のための研修ポイント（2 点）を申請予定です。研修会終了後、各研修会場にて、「参加証」と交換で、研修証明書を配付します。

（遅刻・早退は 30 分を限度とします）。

6. 今回同封されているもの

①総会研修会案内、②事務局からのお知らせ、③託児サービス案内、④懇親会チラシ、⑤ニュースレター、⑥部会研修案内、⑦研修年間予定表の 7 点です。

7. 問い合わせ先


お問い合わせは、下記の大阪府臨床心理士会事務局まで、メールまたは F A X でお願います。当会の会員確認および参加申込の確認をいたしますので、お名前と臨床心理士番号を必ずご記入ください。

キャリアメール (@docomo, @ezweb, @softbank など携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス) でお問い合わせの場合、事務局からの返信メールが、エラーで戻ってくる場合がございます。ご注意ください。

2 週間以内に返答がない場合は、お問合せが当会事務局へ届いていない、又は事務局からの返

信メールが受信拒否されている可能性があります。当会事務局からのメール (osakacp@osccp.jp) が受信可能なメールアドレスから、再度お問い合わせくださいますよう、お願いいたします。なお、事務局の開室曜日が限られますのでお返事には日数を要する場合がございます。また土日祝は閉室しておりますため、研修会前日や当日にメールやFAXでお問合せを頂いてもお受けできません。

本研修会に関してのお問い合わせはお早めにお問い合わせ致します。

| | |
|---|---|
| <p>大阪府臨床心理士会事務局</p> <p>Mail : osakacp@osccp.jp</p> <p>Fax : 06-6942-5110</p> <p>Home Page : https://www.osccp.jp/</p> |  |
|---|---|

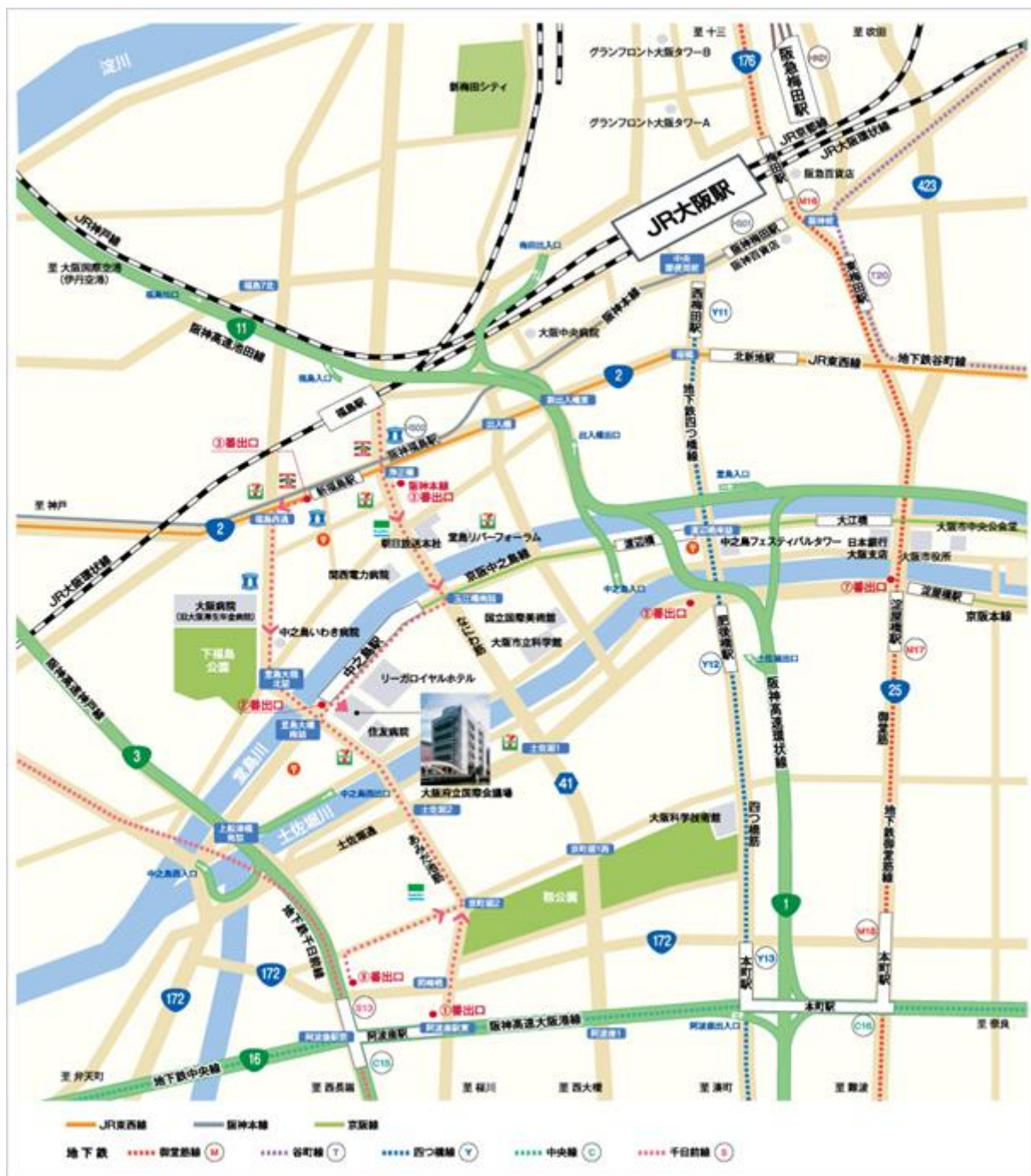
8. 託児サービスのご案内

小さなお子様のいる方でも、当日安心してゆっくりご参加いただけるよう、託児サービスをご用意する予定です (今後の感染状況等により変更する場合がございます。詳細は府士会 HP 等をチェックしてご参加ください)。

| | |
|-------------|---|
| 利用可能時間 | 9 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0 まで |
| 対象 | 合同研修会の参加者 (本会非会員もご利用できます) |
| お子様の年齢 | 1 歳 ~ 6 歳 (未就学児に限ります) |
| 定員 | 1 5 名 (先着順) |
| 託児場所 | 大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪) 会場内 (申し込まれた方に後日お伝えします) |
| 利用料金 | 3, 0 0 0 円 (本会非会員も同じ) |
| 利用方法 | 予約制 |
| 託児形態 | 託児サービスは (株) ポピンズファミリーケアに委託して実施します。 |
| 利用申込・お問い合わせ | 同封の案内チラシをご確認いただき、利用申込書に必要事項をご記入のうえ、(株) ポピンズファミリーケアまで F A X にてお申し込みください。 (株) ポピンズファミリーケア大阪支社 チャイルドケアサービス部 担当 : 竹内・西田 電話 0 6 - 6 3 6 7 - 2 1 0 0 F A X 0 6 - 6 3 6 7 - 2 1 0 5 |
| その他 | 保育に配慮が必要な場合は、ご予約時にお申し出ください。 大阪府臨床心理士会および大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪) は、本サービスおよび会場内外での事故等の責任を負いかねますので、ご了承ください。 詳細は同封の案内チラシを御覧ください。 |

9. 会場へのアクセス

- ・JR、阪神「福島駅」から徒歩 15 分。
- ・京阪中之島線「中之島駅」から徒歩 5 分。
- ・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから大阪市営バス 53 系統船津橋行き、または幹 55 系統鶴町四行き、約 15 分「堂島大橋」下車。



※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。